



橋本市長  
平木 哲朗

新年、明けましておめでとうございます。  
市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年、橋本市長として3期目をスタートし、気持ちを新たに「元気なまちづくり」の実現に向け施策を推進し、財政健全化も進んでまいりました。また、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格などの物価高騰の影響が続く中、市といたしましても、市民生活や地域経済活動の継続を支援するため、さまざまな事業を実施してまいりました。今後も引き続き感染拡大防止対策と社会経済活動の両立に全力で取り組んでまいります。

本年は、まちづくりの指針となる「第2次長期総合計画後期基本計画」が始まる年です。人口減少や少子高齢化の進行とともに、より一層皆さまとの協働のまちづくりを進める必要性が高まっています。そのためにも自主的なまちづくりを推進する地域運営組織を中心に、各地区の特性を生かした地域づくりを進め、人と人の絆が深まる橋本市を目指してまいります。

また、デジタル技術の活用による行政手続きの効率化や非対面サービスの導入など、新しい時代の波にも臨機応変に対応しつつ、5年先、10年先を見据えた持続的に成長する橋本市を創り上げてまいりたいと存じますので、さらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念いたしました。新年のごあいさつといたします。



橋本市議会議長  
小林 弘

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまには、令和5年の新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年はロシアによるウクライナ侵攻が開始され、歴史に残る年となりました。戦禍にあるウクライナからの悲惨な報道にふれるたびに、胸が締めつけられる思いがいたします。

他方、国内では秋に新型コロナウイルス感染拡大が落ち着き、「3年ぶりの」や「行動制限のない」という言葉とともにさまざまな行事やイベントが再開され、以前はそこかしこにあった人と人とのふれあいがみられるようになりました。

議会では、ウクライナ侵攻という惨事に際し、一刻も早く無条件でロシア軍を完全撤退させ、平和的解決に向けた努力を強く求める決議を行いました。

また、地球温暖化の影響とみられる災害級の猛暑や豪雨などが頻発するなか、市に地球温暖化対策への具体的な取組みを求める決議を行い、SDGsによる持続可能な社会の実現を目指し、市と共同で「橋本市気候非常事態宣言」を表明いたしました。

これからもまちづくり全般について、議会としての役割と責任を果たしながら、山積する課題の解決に向け、明確なビジョンをもって取り組んでまいりますので、今後とも皆さまの力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新たな年が市民の皆さまにとって笑顔で暮らせる輝かしい1年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。